

平成 2 2 年第 4 回大仙市議会定例会

市 政 報 告

平成 2 2 年 1 2 月 6 日
大仙市長 栗 林 次 美

本日、平成22年第4回大仙市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、ご参集いただきまして誠にありがとうございます。

今次定例会でご審議をお願いいたします案件は、人事案2件、条例案8件、単行案17件、補正予算案4件の合計31件のほか、会期中に準備が整い次第、損害賠償の額を定めることに係る単行案を追加提案する予定であります。

各案件につきまして、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

それでは、この場をお借りいたしまして、主要事業の進捗状況並びに諸般の状況をご報告させていただきます。

はじめに、総務部関係についてであります。

市役所の組織機構の再編につきましては、地方分権社会を迎え、地方自治体は自らの責任において地域社会の実情に応じた独自の施策を実践する必要があり、同時に多様化・高度化する市民ニーズに的確に対応した施策の展開など、めまぐるしく変化する社会的な要請に応えるため、組織全体としての能力向上が求められてきております。

また、現在市では、大仙市行政改革大綱実施計画に基づき、適正規模の職員数を目指すとともに、職員一人一人の能力を最大限引き出す人財育成プロジェクトを進めており、将来的には、行政の簡素化・効率化と、より質の高い市民サービスの提供の双方が実現できる組織機構の再構築が必要不可欠であると認識いたしております。

こうした基本的な考え方の下、来年度から段階的に組織機構の再編を進めたいと考えており、今次定例会に関連条例の一部改正を内容とした整備条例を上程いたしておりますので、ご審議を賜りたいと存じます。

本年度の職員採用試験につきましては、一般行政事務及び技術系職員合わせて229名の申し込みがあり、第1次・第2次試験の結果、最終合格者を事務職16名、保健師2名、建築・土木職3名の21名としております。

市有財産の処分推進につきましては、不動産業者のネットワークを活用して売却ができるよう秋田県宅地建物取引業協会と「市有財産の売却に係る紹介業務に関する協定」を11月9日に締結しております。

防災対策につきましては、10月18日に本市を会場に第48回秋田県総合防災訓練が実施され、市民や防災関係機関、事業所など56機関、約5,

000人が各種訓練に参加しており、秋田県初の試みとして実施された化学災害対応訓練や在留外国人に対応した訓練など、効果的な防災訓練ができたものと思っております。

次に、企画部関係についてであります。

仙北組合総合病院の改築を核事業とした（仮称）大曲通町地区第一種市街地再開発事業につきましては、大曲都市計画決定に向けた住民説明会を11月5日と6日の2日間開催しております。説明会では、都市計画決定の内容に対する反対意見はなく、病院改築の早期実現を望む前向きな意見をいただいたところであります。今後は、11月24日から2週間の縦覧期間を経て、12月中旬に大仙市都市計画審議会を開催し、12月下旬の都市計画決定告示を予定しております。

この都市計画決定により、平成22年度に予定されている事業計画作成業務等の補助事業が本格的に進められることになり、平成23年度には北街区^{きたがいく}の解体作業に着手する計画であります。

また、市街地再開発事業と一体的に取り組んでまいりました中心市街地活性化基本計画の策定につきましては、11月30日付けで、内閣総理大臣の認定をいただいたところであり、活力ある中心市街地の形成に向けて、取り組みを着実に進めてまいりたいと考えております。

総合計画につきましては、新たに平成23年度から向こう5年間の後期基本計画の策定を「まちづくりアンケート」や「市民による市政評価」等を踏まえながら作業を進めており、素案がまとまり次第、議会にお示ししご意見をいただきたいと考えております。また、今後、パブリックコメントを実施するほか、各地域協議会との意見交換を予定しております。

なお、実施計画につきましても、後期基本計画との整合性を図りながら策定作業を進めております。

インターネット環境の構築と地上デジタルテレビ放送の難視聴地域解消を目的とした光ケーブルの敷設工事につきましては、11月末現在で約71%の進捗率となっております。

なお、今月中に敷設が完了予定のNTT東日本の太田局、豊川局、角間川局及び内小友局については平成23年1月4日から、そのほかの局については、平成23年3月から光ブロードバンドサービス提供を開始すると伺っております。

西仙北インターチェンジのETC専用スマートインターチェンジ化につきましては、市道と接続するランプの改良のための舗装工事等を9月に発注したところであり、年度内の供用開始に向け、東日本高速道路株式会社とともに施設整備を進めてまいります。

小規模集落コミュニティ対策事業につきましては、本年7月から試験導入した「集落支援員」の研修が9月に終了し、10月から本格的に活動を開始しております。現在、西仙北・協和・南外の3地域で、集落の現状や将来などについて集落の皆さんとの話し合いを進めているほか、集落の基礎的な情報を収集し、実際の取り組みに活かしていくため、対象集落の全戸に対して聴き取り調査を実施しており、年度内に結果を取りまとめることとしております。

10月1日を調査期日として実施された国勢調査につきましては、第2次の調査書類の審査が終了しており、人口の速報値については、平成23年2月に公表される予定となっております。

友好交流都市である韓国唐津郡たんじんぐんとの交流につきましては、新唐津郡守が7月1日に就任しており、10月7日から9日にかけて唐津郡を訪問し郡守就任のお祝いを申し上げるとともに、青少年交流の継続、スポーツ交流など新たな分野の交流について協議するなど、さらなる友好関係の構築を図っております。

また、11月16日には当市議会の会派である「大地の会」が唐津郡を視察いたしました。現地では郡守及び議会議長から丁重な歓迎を受けたとの報告を受けており、友好交流を進めている市として、改めてお礼を申し上げるとともに、来年の大曲の花火に郡守と議会議長を正式に招待することとしたところでもあります。

次に、市民生活部関係についてであります。

女性消防団員につきましては、各地域5名ずつ40名を目標として、9月から募集を開始しておりますが、11月末現在で大曲地域2名、西仙北地域5名、中仙地域2名、協和地域1名、南外地域1名の合計11名の入団があったところであり、今後も引き続き募集してまいります。

平成21年度に繰越明許費を設定した、西仙北地域正手沢地区と大曲地域四ツ屋地区の防火水槽設置工事につきましては、8月20日と9月17日にそれぞれ完成しております。また、消防水利補修事業については、障がい者の自立支援等を目的に、市内130カ所の消火栓や防火水槽引水パイプの塗装塗替を

市内の福祉施設へ委託し、作業が完了しております。

秋田県消防協会大仙市仙北市美郷町支部が主催する「中学生防火防災弁論大会」につきましては、11月2日に仙北中学校を会場に開催され、市内7中学校の生徒代表が意見発表を行い、防火防災意識の高揚を図っております。

地球温暖化防止対策につきましては、環境学習事業を8月に実施したほか、「子どもエコチャレンジ」に取り組んだ市内26小学校の4年生児童594人が1週間で422kgの二酸化炭素を削減し、また、「環境家族宣言」に参加した市内12中学校の1,568世帯、6,150人は1週間で5,830kgを、同じく公募により参加した一般市民の156世帯、557人は1カ月で1,802kgの二酸化炭素を削減しております。なお、12月が地球温暖化防止月間となっていることから、任意の1日に小・中学校、高校の児童生徒とその家族、一般市民、事業所を対象にワンデイ・エコチャレンジを実施いたします。

ごみ減量化対策につきましては、平成21年度の家庭系と事業系を合わせた大仙市のごみの総排出量は2万8,405tで、前年度比1,599t、5.3%の減量が図られております。

また、資源ごみにつきましては、3,973tが回収され、リサイクル率は12.3%と前年度比で0.6ポイント向上しております。

なお、本年度から市内全域で回収している廃食用油につきましては、11月末現在で4,353リットルが回収され、バイオディーゼル燃料に精製され軽油の代替燃料として使用されております。

し尿汲み取り料金につきましては、平成10年4月以降料金の改定がなく、また、運営経費の増大や下水道普及による仕事量の減などにより、事業者は厳しい経営が続いているため、先般、事業者会から料金改定の要望書が提出されております。現在、大仙市、美郷町、大仙美郷環境事業組合及び住民代表で構成する検討委員会において協議しているところであり、本年度末までに結論を出すこととしております。

交通安全対策につきましては、10月13日に神岡地域において第2回交通安全推進集会を開催し、県警カラーガード隊や各地域の交通安全関係団体など、約380人が交通安全啓発パレードを行い、シートベルトとチャイルドシートの着用など5項目からなる交通安全宣言の採択、日本損害保険協会による講演などを実施したところであります。

旅券（パスポート）発給事務につきましては、本庁市民課において10月1日から開始しており、11月30日までの2カ月間の申請件数は、10年有効旅券が91件、5年有効旅券が100件、紛失が2件、訂正が4件の合計197件となっております。市民の皆様からは、市役所で気軽にしかも簡単にワンストップで手続きができると好評を得ております。

次に、健康福祉部関係についてであります。

市では、高齢者の実態調査をもとに、「避難支援」の必要度を三段階に区分した地域別の高齢者情報を整理し、災害発生時の避難支援に関する初動体制の整備を進めております。

この中で、地域の協力がなければ避難できない要援護者については、個別計画を作成するため、現在、各地域の民生児童委員、自治会長及び町内会長の協力を得て、災害時要援護者の協力者に関する人選に努めているところであります。今後は、自治会や町内会との情報の共有・活用を図ることにより、地域における災害支援活動の充実を図ってまいりたいと考えております。

敬老会につきましては、9月1日から22日までの間に14会場で開催し、全体で4,765人の方が出席され、盛会裡に終了しております。

金婚式につきましては、10月22日に仙北ふれあい文化センターで開催し、80組の出席のもと、結婚50年を祝福しております。

冬期間に自宅玄関前の除排雪が困難な世帯を対象とした高齢者等除雪サービス事業につきましては、11月末現在で311件の申し込みを受けております。

社会福祉法人「あけとおり会」が旧かみおか保育園跡地に建設を進めている障がい者就労支援施設につきましては、9月に着工し、本年度末の竣工、平成23年7月のオープンを目指して順調に進捗していると伺っております。

自殺予防対策につきましては、6月7日から健康づくりや自殺予防推進に関する知識や技術を身につけ、ボランティアとして活動する「メンタルヘルスサポーター」の養成講座を開講いたしました。26名の受講者が計6回の講座を修了しております。今後、フォローアップ研修等を通じ、サポーターの自殺予防活動への参画を促してまいります。

また、10月16日、大曲交流センターを会場に開催した「大仙市こころといのちを考える集い」につきましては、市民約200人の参加のもと、本市と

秋田大学の連携協定の一環として、秋田大学准教授金子善博氏、同助教藤田幸司氏の2名の講師による講演をいただいたところであります。併せて市民から募集しておりました平成22年度「命を大切に」ポスター入賞者の表彰式を行っております。

なお、自殺予防の推進を目的に組織された「秋田ふきのとう県民運動実行委員会」との協賛事業として、専門家による「いのちの総合相談会」を仙北ふれあい文化センターを会場に11月23日から5日間開催し、17件の相談に対応したところであります。

健康づくり対策につきましては、11月6日、大曲交流センターを会場に市民約220人の参加のもと、大曲仙北医師会との共催で「第6回医療と健康を考える集い」を開催しており、食育、髄膜炎ワクチン及び子宮頸がんに関する専門医や実務担当者による講演をいただいたところであります。

なお、ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン及び子宮頸がんワクチンの接種につきましては、市民保健の観点から、来年度に助成制度を創設する予定であり、今後関係者への説明会の開催など準備を進めてまいります。

次に、農林商工部関係についてであります。

稲作につきましては、10月15日現在の農林水産省統計によりますと、全国の作況指数は「98」のやや不良、秋田県は「93」の不良、県南は「95」のやや不良と発表されております。また、JA等から米出荷時に農家へ支払われる本年の仮渡し金額は、昨年より1俵当たり2,500円減の1万円となっており、さらに品質の低下によって、農家の収入は大きく落ち込んでおります。

本年産米の管内の買入れ状況につきましても、JA等集荷業者のとりまとめによる11月16日現在の集荷状況は、101万7,557俵の集荷目標に対し84万1,159俵、集荷率は83.5%となっており、一等米比率は76.5%であるとの報告を受けております。いずれも昨年同期と比較し、集荷率で9.3ポイント、一等米比率で21.5ポイントの低下となっております。

こうした状況を踏まえ、市では、国の戸別所得補償モデル事業交付金が支払われるまで、JAが貸付けした「つなぎ資金」に対し、農家負担の利息を全額助成したところであります。

また、減収農家支援のため県が創設した「秋田県営農維持緊急支援資金」に関し、県、JAとともに行う利息の協調助成に加え、独自に0.5%の上乗せ助成を行うことにより、借り入れ農家の利息の負担をなくするため、今次定例会に平成23年度以降の債務負担行為の設定をお願いしております。

なお、国からの戸別所得補償モデル対策に係る定額交付金等については、11月12日に、加入申請をしたほぼ全ての農家に約26億7,000万円が交付されております。

平成13年度から実施の小種地区経営体育成基盤整備事業につきましては、ほ場整備が完了し、10月22日に竣工式が行われております。

農地・水・環境保全向上対策事業につきましては、4年目の活動期を順調に終え、最終年度となる来年度の事業計画等の準備を進めております。

第133回秋田県種苗交換会につきましては、10月30日から11月5日まで北秋田市を会場に開催され、出品総数2,158点のうち、本市からは151点が出品されており、水稻部門で秋田県農業共済組合連合会会長賞を、飼料部門で秋田県畜産農業協同組合組合長賞を受賞するなど、個人・団体合わせて40組が入賞し、本市農業の高い生産技術が評価されております。

秋の稔りフェアにつきましては、10月23日、24日の両日、大曲体育館、大曲武道館、市役所駐車場、市民会館などを会場に開催し、天候にも恵まれたことから延べ約4万2,000人の来場者で賑わったところであります。

また、各地域におきましても中仙地域のジャンボウさぎフェスティバルや協和地域の美山湖フェスティバルをはじめ、文化祭、公民館まつりなどの催しを開催しております。

第3回「大仙農業元気賞」につきましては、12月2日、市内の若手農業者のうち、新たな農業に挑戦し地域のリーダーとして頑張っておられる3名の方を表彰しております。

企業対策につきましては、本市への進出企業として、由利本荘市に本社を置くアルミ電解コンデンサ製造業者、秋田ルビコン株式会社が生産拠点を協和地域に設けると伺っております。今後市の誘致企業として、雇用支援、空き工場助成、工業等振興条例などによる支援を検討してまいりたいと考えております。

また、エーピーアイ株式会社から、事業の再編に当たり、旧船岡小学校を活用して操業したいとの申し出があり、校舎の事務所や製造スペースへの改修がこのほど完了し、今月からの操業開始と伺っております。

10月6日に中野秋田県副知事をお招きし、県が進める産業振興施策に関する「秋田県産業振興講演会」を開催し、商工団体などから約150人の参加をいただいたほか、11月24日には、3回目となる「大仙市首都圏企業懇話会」を開催し、本市出身の企業関係者、本市に進出済みの企業の本社、親会社などから27名の参加をいただき、農商工の連携について意見交換を行ったところであります。

来年3月の高校卒業予定者の就職状況につきましては、ハローワーク大曲の集計によりますと、10月末現在で、求人数は昨年同期に比べ22%増加しております。また、就職内定率については、昨年同期とほぼ同水準で推移しており、各学校では、今後も引き続き未内定者に対する就職等の進路指導を積極的に実施していくと伺っております。

なお、ハローワーク大曲、秋田県仙北地域振興局、大仙市、仙北市、美郷町で構成する「仙北地域雇用促進連絡会議」が10月7日に開催した「仙北地域新規高卒者就職面接会」において、参加21事業所が、12校、83名の生徒に対し面接を行った結果、11月15日現在で14名が採用内定を受けております。しかしながら、雇用環境は依然として大変厳しいことから、今後も、各高等学校、関係機関と連携し、支援策を検討してまいります。

出稼ぎ者の状況につきましては、11月末現在の出稼ぎ者数は231人となっており、昨年同期と比べ23人減少しております。また、大曲仙北医師会のご協力により実施している市内医療機関での就労前健康診断の受診状況につきましては、112件との報告を受けております。

技能功労者表彰につきましては、11月19日の表彰式において、建築防水、建築大工、内装・表具、さく井工事の4分野から5名の方々を顕彰しております。

また、厚生労働省が主催する「平成22年度卓越した技能者表彰」において、花火製造工の職種で小松忠二氏が受賞され、秋田県が主催する「平成22年度秋田県優良技能者表彰」においては、電気配線工の職種において吉田利雄氏が受賞されております。長年のご功績に敬意を表するとともにお祝いを申し上げます。

新規観光資源の発掘及び誘客対策として、本市とJRが連携し実施いたしましたウォーキングイベント「駅からハイキング」につきましては、9月25日の大曲駅から花火通り商店街を通り、蛭川の薬師神社までのコースに16人の

県外者を含む30人が参加、11月13日の羽後境駅から唐松神社、まほろば唐松能楽殿までのコースに20人の参加をいただいたところであります。今後も、JRと連携を図りながら本市の魅力をPRしてまいりたいと考えております。

次に、建設部関係についてであります。

大曲駅周辺地区まちづくり交付金事業につきましては、福田西線の舗装工事が11月下旬に完了しております。平成21年度から工事を進めていた「しあわせ公園」については、10月30日に植樹祭を行い、11月下旬に施設工事が完了しております。地域交流センター「はびねす大仙」については、11月28日に竣工式及び見学会を行い、12月1日から供用を開始しております。

なお、花館小学校内に開設している「いちょう児童クラブ」の利用希望者が増加しており、現在の場所のみでの対応が困難となっているため、現在のクラブを「第1いちょう児童クラブ」とし、今般の「はびねす大仙」供用開始に合わせ、同施設内の一室に「第2いちょう児童クラブ」を定員20名で設置し、運営を開始しております。

仙北ふれあい公園事業につきましては、第2駐車場及び体育館周辺整備工事が、11月末現在で約95%の進捗率となっており、本年度をもって完了する見込みであります。

大仙市住宅リフォーム支援事業につきましては、11月末現在の申請件数は434件、補助金額にして約9,000万円、工事費の総額は約12億4,100万円となっております。冬期間に入り申請件数が減少傾向にありますが、市民及び市内住宅関連事業所への広報活動など申請の掘り起こしを図り、地域経済の活性化に努めてまいりたいと考えております。

平成21年度3月補正において繰越明許費を設定した「きめ細かな臨時交付金事業」の道路及び橋りょうの整備につきましては、68路線のうち62路線が完了し、現在3路線の工事を進めており、残る3路線についても発注に向け準備作業を進めております。

地方道路交付金事業の2路線のうち市道古四王際飯詰線につきましては、現在舗装工を進めており、年内の供用開始を予定しております。

また、市道中仙4号線の橋りょう工事につきましては、下部工を9月に発注したところであります。

地方特定道路整備事業の1路線と市単独道路改良工事の36路線につきましては、24路線が完了し、現在7路線の工事を進めており、残る6路線についても発注に向け準備を進めております。

大曲駅前第二地区土地区画整理事業に係る建物移転につきましては、大曲通町地区、大曲中通町地区及び大花町地区の本年度移転対象物件11戸中10戸の権利者と契約済みであり、現在残る権利者と交渉中であります。

なお、JR大曲駅西地区の移転対象物件につきましては、本年度で全て移転が完了いたします。

また、大花都市再生住宅の入居状況は、本年度入居予定戸数15戸のうち14戸が入居済みであり、現在の入居戸数は52戸のうち35戸となっております。

工事関係において、中通線新設工事につきましては、地盤改良及びU型擁壁ようへきの設置を行っており、水路2号新設工事は排水構造物の設置及びブロック積工を行っております。中通町通町線舗装工事については12月中旬の完了予定であり、通町線新設工事は側溝の設置を行っております。なお、そのほかの区画道路新設工事と街区整地工事については、今月中の発注を予定しております。

大仙市都市計画マスタープランに基づく特定用途制限地域策定業務につきましては、11月末現在で約30%の進捗率となっております。

平成18年から地域住宅交付金により整備を進め、本年度で事業最終年度を迎えた北ノ沢市営住宅建設工事につきましては、現在、全6棟12戸のうち残る2棟4戸について事業着手しており、11月末現在で約38%の進捗率となっております。

公共下水道事業につきましては、補助・単独合わせて4地域の管路工事21件、延長5.2kmについて発注済みであります。

農業集落排水事業につきましては、大曲地域角間川地区及び太田地域三本扇地区において、補助・単独合わせて8件の管路工事、延長3.0kmを発注しているほか、処理施設建設工事については、角間川地区の土木工事1件、三本扇地区の建築、機械設備及び電気設備の各工事3件を発注しております。

次に、国・県関係工事についてであります。

国道13号関連の神宮寺バイパス事業につきましては、11月3日に大坪

交差点から現道に接続する北檜岡高花までの2.2km区間が開通し、国土交通省、秋田県との共催による開通式を「嶽ドーム」で行ったところであります。これによりバイパス区間7.2kmが通行できるようになりましたが、引き続き、終点側となる「道の駅かみおか」までの現道拡幅区間の用地買収及び工事を推進する予定と伺っております。

また、交通安全施設等整備事業の国道13号「北檜岡歩道」の整備につきましては、昨年度の下り線側の整備に引き続き、現在、上り線側の工事が進められております。

雄物川中流部の河川改修事業につきましては、築堤等の改修工事が引き続き実施されている協和地域の小種樋門は、本年度末の完了を目標に工事を進めていると伺っております。

また、大曲地域角間川地区・藤木地区の川港親水公園については、公園内水路の水質浄化を図るための導水施設の完成により、水質の改善が進んでおり、今後さらに下流部の堆積土砂を撤去する予定と伺っております。

国道105号の整備につきましては、花館字下殿屋敷から中仙総合支所付近までの間、5カ所1.8kmの舗装工事が完了しております。

また、主要地方道湯沢雄物川大曲線の角間川バイパス供用後に整備が進められてきた藤木地区の一般県道川西六郷線につきましては、11月30日に供用開始されております。

なお、7月及び8月の集中豪雨による災害への対応につきましては、県所管の河川護岸等の被害が本市で21件ありましたが、早期の復旧を図るため、年度内の工事発注に向け準備を進めていると伺っております。

次に、水道局関係についてであります。

大曲橋架け替え事業に伴う施設整備工事につきましては、8月中旬に発注しており、管理棟、車庫棟などの場内整備工事は11月末現在で約85%、導・配水管敷設工事は約90%、取水施設築造工事は約30%の進捗率となっております。

また、大曲地域四ツ屋地内の消火栓移設工事は10月下旬に、大曲駅前第二地区土地区画整理事業に伴う配水管の移設工事は11月初旬に、それぞれ発注しております。

簡易水道事業につきましては、本年度で施設整備事業が完了する仙北地域の

戸地谷地区簡易水道施設整備事業の配水管敷設工事が11月中旬に完了し、現在の給水戸数は142戸となっております。

また、西仙北地域の大沢郷地区簡易水道施設整備事業につきましては、配水管敷設工事、第2送水ポンプ場施設整備工事及び第2配水場施設整備工事の進捗に伴い、現在の給水戸数は285戸となっております。

次に、教育委員会関係についてであります。

学校規模適正化の推進につきましては、神岡・西仙北・南外の3地域の小学校及び西仙北地域の中学校について、平成24年4月の統合に向けて準備作業を進めておりますが、今次定例会に関連する条例の一部改正案を上程しております。

また、西仙北地域4小学校の統合校舎となる刈和野小学校の増築工事につきましては、工期の関係から本年度中に実施設計を完了する必要があるため、今次定例会に予算の補正をお願いしております。

大曲中学校屋内体育館建設事業につきましては、第2アリーナの外部工事を終え、第1アリーナも内部の仕上げを行っており、11月末現在で約84%の進捗率となっております。

学校耐震補強工事につきましては、倒壊の危険が特に高いとされたIS値0.3未満の13件については、9月末をもって補強工事が完了しており、IS値0.3以上0.7未満の12件についても、継続事業となる大曲小学校と12月の完了を予定している太田南小学校及び仙北中学校を除いた9件が完了しております。

このほか学校教育関連では、国の教育課程「保健体育」研究指定校事業が10月1日に大曲中学校で、同じく国の指定「道徳教育」実践事業が10月29日に花館小学校で開催され、指導者として招いた文部科学省の教科調査官などから、研究実績について高い評価をいただいております。

また、10月17日から22日までの6日間にわたり、財団法人ユネスコアジア文化センター主催により中国教職員団27名が来訪し、大曲・大川西根・高梨・協和の市内4小学校と県立大曲養護学校において、教職員や児童生徒と交流するとともに、地域の家庭を訪問するホームビジットや旧池田氏庭園、権岡焼窯元などの視察をとおして、日本の教育や文化・社会についての理解を深めていただいております。

さらに、11月1日と2日には、大曲新人音楽祭コンクールでの入賞経験を持つチェロ奏者^{はがわしんすけ}羽川真介氏を講師に「夢の先生音楽バージョン」を7小学校の児童を対象として、4小学校を会場に開催し、優雅なチェロの演奏を堪能するとともに、「夢をもつことの素晴らしさ」や「努力することの大切さ」について学んだほか、11月5日には、大曲、豊成両中学校において、千葉大学医学部野田公^{まさとし}俊教授から「ミクロの世界からのメッセージ」と題した講演をいただき、微生物に関する興味深いお話に生徒からたくさんの質問が出されるなど、科学に興味を持つ良い機会となっております。

また、環境教育を推進している大曲南中学校は、電気新聞主催「エネルギー教育賞」の中学校の部において、昨年度の最優秀賞に続き、本年度も優秀賞を受賞しており、小学校や地域、外部団体と連携した取り組みが高い評価を得ております。同校では、この報告会も兼ねて、12月22日に角間川小学校・藤木小学校と合同でオープンスクールを開催する予定となっております。

文化財保護につきましては、国指定名勝旧池田氏庭園の洋館修復工事が関係各位のご協力のもと完了し、10月28日に修復完成竣工式典を挙行了のち、11月6日と7日の特別公開において披露したところ、両日で約6,000人の方々から見学をいただいたところであります。

また、鈴木空如の資料調査研究事業につきましては、10月27日から11月3日までの8日間、大曲中央公民館で「空如の画業を探る」と題した鈴木空如作品展を開催し、県内外約520人の方々から鑑賞をいただいております。

なお、9月末に市が所有する法隆寺金堂壁画模写の表装修復費用の一部について、財団法人朝日新聞文化財団の助成選定を受けたところであります。

生涯学習の推進につきましては、10月2日と3日に、市制施行5周年記念大仙囲碁フェスティバルを開催し、日本棋院理事長の大竹英雄氏の講演とともに子ども囲碁大会、プロ棋士6名をお迎えしての市民囲碁大会を開催したほか、10月17日には市民短歌大会を、11月7日には市民俳句大会をそれぞれ開催しており、市民俳句大会におきましては、今大会から市内の中・高校生にも投句を呼びかけたところ、16句の投句をいただいたところであります。

また、9月4日には太田文化プラザで「第15回民謡秋田おはら節全国大会」が、11月13日と14日には大曲交流センターで「大仙市芸術祭」が、11月23日には3回目となる秋田飴売り節大会が初の全国大会として開催され、それぞれ盛会のうちに終了しております。

5月15日を皮切りに、市内8カ所で開催した出前民謡「ふるさと民謡めぐり」につきましては、11月10日の太田地域での開催をもって全日程が終了し、昨年を700人ほど上回る延べ約2,300人の方々が来場しております。

また、西仙北地域で開催の東北将棋大会につきましては、11月11日から14日まで行われた学生大会に東北の4大学から54名、11月14日に行われた市長杯争奪戦の名人戦・一般・小学生の部に県内外から93名が参加し、それぞれ熱戦が繰り広げられたところであります。

スポーツの振興につきましては、第32回全県500歳野球大会が9月18日から23日まで神岡球場をメイン会場として、全県各地から過去最高の172チーム、計4,353名の選手が参加し、盛会裡に終了したところであります。

また、市内スキー場のオープンにつきましては、大台スキー場が12月21日、大曲ファミリースキー場が12月23日、協和スキー場が12月25日の予定となっております。

次に、平成23年度当初予算編成について申し上げます。

本市の財政につきましては、長引く景気の低迷や人口の減少を受け、自主財源の柱である市税収入の落ち込みに加え、少子高齢化に伴う社会保障費の増大や各種事業の実施に伴った市債償還額が増加してきており、様々な方策を講じているものの、依然として厳しい状況が続いております。

また、来年度は人口減少等の影響による地方交付税の減少が見込まれるほか、平成27年度から逡減となる普通交付税合併算定替えなど、今後の合併特例措置の縮減廃止を踏まえ、市が持続可能な財政基盤を確立するため、将来を見据えた健全な行財政運営が一層求められております。

しかしながら、景気の冷え込みが影響し、依然として厳しい経済状況におかれている本市の情勢に鑑みると、経済対策等の実施を含めた一定規模の財政出動が必要であると考えております。

このような状況のもと、平成23年度当初予算編成に当たっては、喫緊の課題である経済・雇用・生活対策を進めていくことが重要であり、今後も切れ目のない対策を進めていくとともに、国の地域活性化交付金を活用した本年度補正予算と平成23年度当初予算を合わせた14カ月予算により、地域の活性化

を図ってまいります。

また、市の重点施策である子育て支援・教育の充実に取り組んでいくほか、農業振興及び地域医療体制整備についても積極的に推進を図り、市民ニーズに沿った総合計画の後期基本計画を着実に推進してまいります。

一方、昨年度策定した「公債費負担適正化計画」を遵守しながら、スクラップ・アンド・ビルドを基本に、全ての事務事業について必要性や内容を検討する「一件審査方式」とするほか、市単独の補助金・扶助費及び施設の維持管理費等については、事業の目的や効果、将来負担等を十分精査し、無駄を排除するなどの抜本的な見直しを行ってまいります。

また、職員一人一人が本市の財政状況を今一度認識し、自己責任と説明責任のもと、問題意識とコスト意識を持ち、限られた財源の有効活用と真に必要な行政サービスの水準を維持するため、事務・事業の廃止や縮小など思い切った改善を図りながら、行財政運営の簡素化・効率化に努めてまいります。

以上、主要事業の進捗状況につきましてご報告申し上げましたが、今後とも市民並びに議員各位のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げまして、招集のあいさつと諸般の報告とさせていただきます。